

KITAKYUSHU JC 2024 ANNUAL REPORT



2023 ▶ 2024
Junior Chamber International Kitakyushu





第72代理事長
後藤 浩太

2024年度活動方針

- 1 魅力的なまちに暮らすために! 活気あるまちづくりを創造しよう。
- 2 未来を見据え進化するリーダーの発掘と育成を創出しよう。
- 3 未来を担う子どもに可能性を創出しよう。
- 4 国境を越えて広がる友情と相互理解を推進しよう。

2024年度 理事長所信

～次世代に繋ぐ変革の「一歩」を届けよう～

はじめに

私は、JCに入会した当初、「JCで何がしたいのか?」という明確な答えをもつていませんでした。ただ単に、知り合いが増え仕事につながれば、という程度の目的しかありませんでした。そんな私は、例会や委員会への出席、そして事業に費やす時間も、「なぜそんなにやる必要があるのか?」という疑念を持ち、先輩の熱意や活動ぶりを見て、「なぜそこまで頑張るのか?」という疑問を抱いていました。そして何より、JC活動によって帰宅が遅くなることを家族に理解してもらえない苦惱がありました。そのような、ただ目的もなくJC活動を続けている私に対して、ある時、紹介者である先輩が、「委員長をやってみないか?」と声をかけてくれました。その先輩の言葉は、「自分には無理だ」「自分ができるわけがない」と、いつも挑戦から避けている私の背中を押してくれたように感じ、私はその役職を務めることにしました。

委員長という役職を担うことで、仲間との絆や、その仲間たちとともにひとつのことに挑戦する素晴らしい感覚を感じることができ、次第にこのまちを想う心が生まれました。そのような中で事業をやり遂げたときの感動や喜びは今でも忘れません。その頃から「JCが好きだ」と感じるようになり、JC活動に対する向き合い方が大きく変わりました。

決して周囲の人たちから「あいつはできる」と思われていない私は、JCでの経験を通じて変わることができました。背中を押してくれた先輩がいて、変わるために「一歩」を踏み出す勇気さえあれば、人はどのようにだって変わることができます。

勇気をもてるから、人は挑戦することができます。そして、挑戦することで、失敗や成功を経て、それが自信へと繋がります。その自信が、自身の更なる挑戦や、周囲の人々に勇気を与えるものとなります。

だからこそ、私たちはJAYCEEとして、人々の背中を押し、勇気を与える存在でありたい。そのきっかけをもってその人が一歩を踏み出すことで人生を変え、前向きな力を生み出し、そしてその人がその先にいる人々に勇気を与える存在になる。その結果、このまち全体が明るい未来に向けて大きな一歩を踏み出し前進することを、私は確信しています。

まずは私たちが、私たちの強い意志をもって、「一歩」前へ進んでいきましょう。そして、目の前にいる人の「一歩」が踏み出せるように、その背中を押せる存在になります。

2024年度事業方針

(1) 魅力的なまちに暮らすために! 活気あるまちづくりを!(まちづくり)

このまちがこれからさらに活力を高め、発展していくために必要不可欠なのが、このまちの未来を生きる今の若者世代の活躍の場です。

しかし残念なことに、北九州市は若者世代の人口流出が喫緊の課題となつてあり、その結果、地域全体の活力や経済成長にも悪影響を及ぼしているのが現状です。

私は、この問題を解決するためには、「このまちだからこそ」何事に対しても果敢に挑戦することができるという可能性を感じられ、それによってこのまちに愛着を持つ機会が重要であると考えています。若者が自身の才能を活かし、社会に貢献できるための機会を創出し、彼らがこのまちで成長し続けられ、尚且つ挑戦できるような環境を整える必要があります。

私たちはこれまで、地域の企業と若者をつなぐ事業「域活!」などを実施した経験もあり、地域と若者のコミュニティづくりなどを運動として展開してまいりました。本年はその経験を踏まえ、若者・企業を巻き込み、新たな事業を展開してまいります。

地域社会と若者世代がともに成長し続けられるまちづくり事業を推進することで、若者が誇りを持ってこのまちに住まい、それによって地域がこれまで以上に発展することを、私は確信しています。

(2) 未来を見据え進化するリーダーの発掘と育成!(拡大・研修)

私たちの組織としての力は、メンバーの数と能力に大きな影響を受けます。このまちには、まだ私たちが出会っていない、まちのリーダーとなる可能性を秘めている人々がまだまだ存在しています。そのような人々に積極的にアプローチし、JCについて理解してもらい、仲間となって、研修を通じてJCの理念や活動に共感してもらうことが重要です。

本年、北九州JCでは、会員拡大系委員会が担う「入口」と、新入会担当系委員会が担う「出口」を同部門にすることで、入会から研修までを一貫する仕組みを設けます。それにより、担当委員会メンバーと新入会者がより身近な存在となり、メンター・メンティの要素によってフォローアップの充実を図ることができ、退会者防止や、一人ひとりへのJC活動に対してケアすることができるを考えます。

入会したメンバーには、新入会者としてJAYCEEになるために研修をおこなっていただいだくほかに、「わっしょい百万夏まつり」の運営と、「到津の森公園支援事業」に参画してもらい、未来のリーダーになるための教育を実践してまいります。これらの「レガシー事業」からJCを学び、自ら考え、議論し、能動的な行動をおこすことが、未来を切り拓くリーダーとしての成長に繋がると確信しています。

能力と品性の両面で優れた候補者を見つけ出す会員拡大活動から、その能力をさらに引き出すための研修期間を一貫して担うことで、意欲的で責任感のあるメンバーになるための成長を支援するとともに、何事にも挑戦する勇気をもち、「一歩」前へ踏み出せるメンバー育成に、挑戦してまいります。

(3) 未来を担う子どもに可能性を!(青少年)

昨年、70周年記念事業として実施した「北九州キッズチャレンジパーク」は、7,000名を超える保護者や子どもたちに来場していただき、本事業のテーマであった「自己肯定感を高める」ための良い機会となりました。この事業が市民に大きな反響を呼んだ結果はLOMメンバーにとって大きな誇りとなりました。本年はこの「北九州キッズチャレンジパーク」をさらに進化させる年にしたいと考えています。

昨年は大盛況に終えることができた反面、その目標を上回る来場者数によって、一人ひとりに与える効果が薄れてしまったのが、アンケート結果により反省点として挙げられました。一方で、「子どもの自己肯定感の向上を感じることができた」という旨のアンケート結果も多数あり、事業のテーマがこの時代に則したものであったことも認識できました。

2年目となる本事業は、昨年の事業テーマであった「自己肯定感の向上」をさらに充実させ、果敢に挑戦することで、より来場者一人ひとりに効果を感じてもらえる事業構築を目指します。

子どもたちが自己肯定感を高め、自身に限りない可能性を見出すことと、そして彼らの背中を押してあげることで、未来への自信を持ち、自ら「一歩」を踏み出して目標を達成するための力を養う機会を創出します。

(4) 国境を越えて広がる友情と相互理解!(国際・台北)

北九州JCは、台湾の台北市國際青年商會(以下、JCI 台北)、大韓民国の仁川富平青年会議所(以下、JCI 仁川富平)、スリランカのJCI ウェラワッタ、さらには、モンゴルのJCI インパクトと姉妹関係にあり、これまでに、それぞれのLOMと国家主権を超えた友情を育んできました。

2023年度は、新型コロナウイルスによる水際対策も緩和され、姉妹LOMとの直接的な交流をおこなうことに成功しました。直接交流することで、文化や習慣を理解し、新しい視野を開く素晴らしい機会となりました。言葉や表情を通じて意思疎通し、異なる考え方や価値観に触れ、自分自身を成長させることができることを、今後も継続していく必要があります。

わたしは、国際事業において何よりも重要なことは「人と人、心と心、そして未来への架け橋」であると考えます。

本年は、それぞれの「架け橋」をより強固なものにし、これまで先輩方が紡いでくれた姉妹JCとの友情をさらに発展させてまいります。

新型コロナウイルスによるパンデミックによって、少なからず、メンバーの国際感覚は薄れてしましました。本年は、昨年の直接交流を弾みとし、より相互理解をアップデートさせ、メンバーの国際感覚を醸成し、「恒久的世界平和の実現」に寄与することを目指してまいります。

【最後に】

このまちの未来に向けて、これから皆さんはどのような「一歩」を踏み出しますか?私は、皆さんと一緒に、「一歩」も踏み出せます。

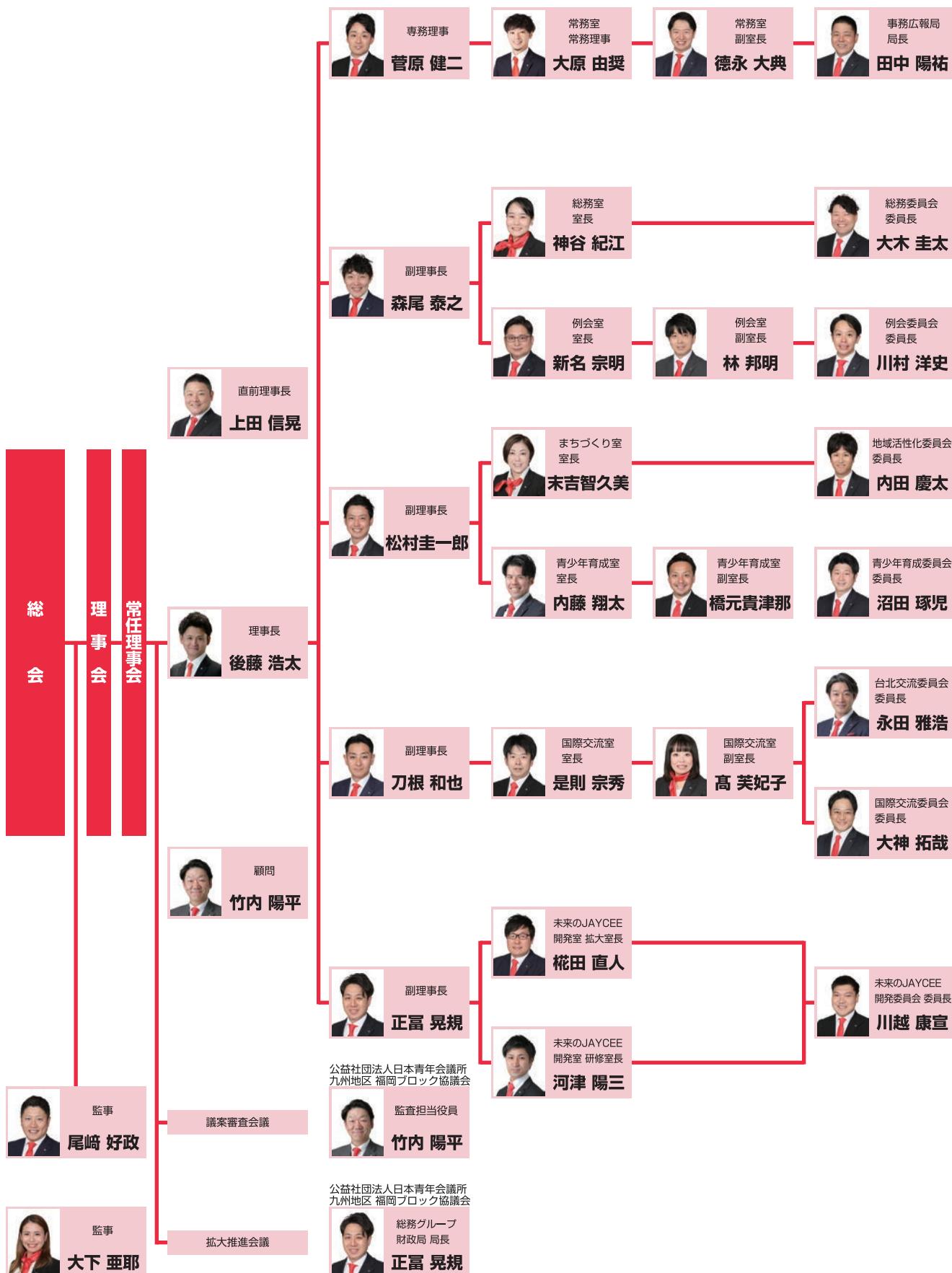
私たちはJAYCEEとして、人々の背中を押し、勇気を与える存在です。そしてその勇気が、前向きな力を生み出し、このまち全体が明るい未来に向けて大きな一歩を踏み出し前進することを、私は確信しています。

私たちはひとりじゃない。メンバー全員が一丸となって、明るい豊かな社会の実現に向けて、このまちの変革に、勇気をもって挑みましょう。

私たちは、このまちの未来のために、これから全員でその「一歩」を踏み出します。共に勇気をもち、挑戦していくことで、素晴らしい未来を築いていきましょう。

2024

2024年度 組織図／ORGANIZATION CHART





公益社団法人日本青年会議所
第73代会頭
小西 賢

一般社団法人北九州青年会議所の皆様、新年おめでとうございます。謹んでご挨拶を申し上げます。また日頃より公益社団法人日本青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

貴青年会議所が、本年度後藤浩太理事長のもと、スローガン「未来への架け橋～次世代に繋ぐ変革の「一步」を届けよう～」を掲げられ、明るい豊かな社会の実現を目指し、邁進されることと存じます。

日本青年会議所では、「親切心が織りなす豊かさで笑顔あふれる未来へ」を基本理念に掲げ、一人ひとりの会員が優れたリーダーシップを開発することを目的とし、素朴で純粋な親切心をもって、各地の皆様と手を取り合い、明るく豊かな社会を実現させるための運動を展開してまいります。引き続き深い理解とご支援をお願い申し上げますとともに、日本青年会議所を大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、皆様にとって本年が素晴らしい一年となられま すことを心よりご祈念申し上げます。

Be the Leader 未来の笑顔のために



福岡県知事
服部 誠太郎

北九州青年会議所におかれましては、創立以来、長きにわたり魅力ある地域づくりや青少年の育成などに取り組まれ、地域の発展に貢献いただいている。上田理事長をはじめ、歴代の役員並びに会員の皆さまの熱意とご尽力に、深く敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

貴会では、昨年は、子どもたちの自己肯定感を高めてもらうことをテーマとして「北九州キッズチャレンジパーク2023～Challenge for Fun!～」を開催され、子どもたちがさまざまな挑戦をする機会を設けていただきました。また、IFP児童交換事業で台北の子どもたちを迎へ、切れ目ない交流を続けられるなど、次世代の育成に取り組んでおられます。

皆さまには、青年経済人らしい情熱と行動力により、北九州地域はもとより、福岡県の活力ある発展に一層のご尽力をいただきますことを期待しています。

北九州青年会議所の今後ますますのご発展と会員の皆さまのご活躍を心から祈念します。



北九州市長
武内 和久

北九州青年会議所の皆様には、1953年の設立から長きにわたり、北九州市の経済活性化などにご尽力いただき、深く感謝を申し上げます。

昨年は、市制60周年記念で開催した、ブレイキン世界大会へのサポートや、わっしょい百万夏まつりの開催にあわせたスペースワールドマスコットキャラクターの復活プロジェクトなど、北九州市のにぎわいづくりにもご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

今年は新たなテーマとして「未来への架け橋」～次世代に繋ぐ変革の「一歩」を届けよう～を掲げ、「若者・企業を巻き込み、地域社会と若者世代がともに成長し続けられるまちづくり事業」や「未来を見据え進化するリーダーの発掘と育成」に取り組まれるなど、まちを元気にしたいという志を同じくする立場として、皆様の存在を大変心強く感じております。

このまち全体を明るい未来に向けて前進させていくためには、皆様の若く新しい感性と果敢な行動力が重要です。

ともに北九州市を盛り上げていきましょう。



北九州商工会議所会頭
津田 純嗣

設立70周年を経て新たな歩みを始め、地域発展のために果敢に取り組まれている北九州青年会議所の皆さんに敬意を表します。

2024年度の基本方針のひとつに掲げられた「魅力的なまちに暮らすために!活気あるまちづくりを創造しよう」には深い共感覚えます。昨年、新型コロナウイルス禍がようやく落ち着きを見せ、まちにはにぎわいが戻ってきました。各地の祭りも例年以上の盛り上がりを見せ、そこには多くの若者の姿もありました。その光景を目の当たりにして「北九州はにぎわいを生み出すポテンシャルを秘めたまちである」ことを再認識すると同時に、ポテンシャルを最大限に生かすための方策作りの重要性も改めて感じました。

北九州青年会議所と北九州商工会議所は「北九州を元気なまちにする」という同じ志を持っています。次世代につなぐための変革の「一歩」を踏み出し、活力創出を目指して共に歩んで行きましょう。



笑顔咲く

希望という名の種を蒔こう



一般社団法人 北九州青年会議所
第71代理事長
上田 信晃

2023年度理事長所感

本年は、2020年より続いた新型コロナウイルス感染症によるパンデミックも落ち着き、社会の動きもコロナ禍以前に戻り、様々な運動をおこなうことができる1年となりました。また創立70周年という節目の年でもあったため、メンバーとともに、例年では得ることができない貴重な経験もさせていただくことができました。「笑顔咲く～希望という名の種を蒔こう～」をテーマスローガンに掲げ、12の委員会で大小合わせ約60もの事業を展開し、このまちに、そしてこの組織に対し、間違いなく「未来への希望」を与えることができたと確信しております。コロナ禍で制限を余儀なくされたJC活動しか経験したことがないメンバーが半数近くいる中で、「果たして皆がどれほどJC活動に時間を費やせるか」という不安がありましたが、1年間を通して、全員が一生懸命に頑張ってくれました。その1年を振り返り、理事長としての所感を述べさせていただきます。

『子どもたちに希望の種を蒔こう』

このまちの子どもたちの自己肯定感を高めること、そして自己肯定感を高めるために必要な「家庭教育」を理解していただくことを目的として、70周年記念事業「北九州キッズチャレンジパーク」を北九州メディアドームにて実施しました。本事業は2委員会が協働でおこない、メンバー全員を動員目標とする「LOM全体事業」と位置づけ開催しました。まず、子どもたちの自己肯定感を高めるための要素として、「五育」をテーマに様々なチャレンジができるブースを設けました。そして、自己肯定感を高めるための家庭教育の必要性への理解を促進する要素として、おしごと体験ブースを設けました。様々な成功体験や失敗体験を通じて、子どもたちは今の自分にできること、できないことを認め、「今の自分でいいのだ」と感じる「自己肯定感」を育むきっかけを創出することができました。他方で、「失敗することも学びである」ということを保護者の皆さんに理解していただくため、おしごと体験ブースでは子どもたちの行動に「一切の口出しをしてはいけない」というルールを敷き、子どもたちは自由な発想のもと、成功や失敗を経験しました。これにより、保護者の皆さんからは、「今まで先回りし過ぎていた」や「思っていたより子どもは色々と自分で考えて、上手にできる子だった」などの感想をいただき、子ども自己肯定感を高めるために必要な家庭教育を理解していただくことができました。

当日は5,000名の参加目標に対し、7,000名を超える市民の方々にご来場いただき、主催したわたしたちも、JCという組織に対する大きな可能性を感じることができた事業となりました。

『過去を知り、組織の未来に希望を抱こう』

メンバー一人ひとりがこの組織の歴史を知り、あらためて、現役・OB・関係者でその歴史を共有し、メンバー全員で北九州JCの希望溢れる未来像を描くことを目的とし、70周年式典・祝賀会を実施しました。全体テーマを「笑顔と感謝」とし、リーガロイヤルホテル小倉にて盛大に開催することができました。当日は、歴代理事長をはじめとするOB196名、福岡県内各地青年会議所および友好JCメンバー160名、そしてこれまでの歴史を

ともに歩んだ姉妹JCのOB・YBの方々にお越しいただき、コロナ禍を乗り越えた再会によってたくさんの笑顔を咲かすことができました。式典では服部県知事、武内市長、津田会頭よりご祝辞を賜り、メンバー一同、この組織を誇りに想える時間を過ごすことができました。また祝賀会では全現役メンバーにてご来場者をもてなし、あらゆるテーブルにて談笑が絶えず、これからこの組織に希望を感じることができる有意義な時間となりました。総勢約500名で執り行われた本事業は、ご来場されたすべての方々にとって希望溢れる時間となったことを確信しております。そして、北九州JCがこの先80年、100年と継承されていく、大きな契機となりました。

『市民に希望の種を蒔こう』

インバウンドの受入態勢を強化することを目的として、飲食店従業員の誰もが訪日外国人とのやりとりが簡単にできる、多言語対応型の指差しシート「コミュニケーションシート」を作成し、市内飲食店に直接出向き配布しました。受け取ってくれた店主からは「とても便利だ」との感想も聞くことができ、また他店では非常に喜んでいただき、店頭に常備していただくこともできました。いつ何時でも訪日外国人が店を訪れた際に、快適に対応できる仕組みを構築したことによって、「またこのまちに訪れたい」と思ってもらえるきっかけを創出することができたと考えております。

また、このまちに住もう市民がこのまちの魅力に触れ、再認識する機会を創出することを目的として、市内の大学に通う学生たちに呼びかけ、工場夜景や若戸大橋夜景などが楽しめる「夜景観賞クルーズ」を体験してもらい、船上からこのまちの魅力に触れていただきました。興奮した様子で、仲間たちとスマホで写真撮影し合う学生たちの姿がとても印象的でした。そして、その学生たちによる「まちの魅力プレゼンター」や、2024年2月に発売される、初の市版となる「地球の歩き方 北九州市」の編集担当をされた日隈氏による講演会などを実施しました。参加者がこのまちの魅力を再認識し、さらにはSNSなどを通じて市内外に発信する機会を創出することができたと考えております。

さらには、本年は北州市政60周年を迎えた年でもあったため、行政とともに様々なにぎわいを創ることができました。特に「第36回わっしょい百万夏まつり」では、あらゆるファンクションで北九州JCメンバーが中心となって活躍し、県内外の人々にこのまちの素晴らしさを感じていただくことができました。

これらの事業をメンバーとともに遂行し、確実に「まちの活力」を底上げできたと確信しております。

『国際の友情関係に笑顔を咲かそう』

本年は新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが落ち着き、コロナ禍以前と同様の国際交流ができることが期待される中で、実際に会い、お互いの「ぬくもり」を感じ合う交流の実現を目指し、一年間を通して国際交流事業を推進してまいりました。その結果、4月度例会ではこのまちに住もう外国人留学生や就労者との交流を深め、日本で生活する上での問題や、外国人から見た日本の素晴らしさなどを知り、学びを深めることができました。また70周年式典・祝賀会には、名誉会員であるイスファハーニ・

サミーン先輩をはじめ、姉妹JCの多くのOB・YBにお越しいただき、お互いの「ぬくもり」を感じ合える交流をおこなうことができました。その中でも、コロナ禍を乗り越え、初めての北九州公式訪問となったJCIインパクトとの交流事業では、これから両LOMのさらなる結束に希望を抱ける、とても有意義な時間を過ごすことができました。そして、ここ数年間はオンラインでの開催しか叶わなかった「IFP児童交換事業」も対面開催をすることができ、子どもたちには、お互いに「触れ合える」国際交流の機会を提供することができました。他にもJCI台北の相互公式訪問、JCI仁川富平への公式訪問なども実現することができ、目指した通り、実際に会い、お互いの「ぬくもり」を感じ合う交流をおこなうことができました。JCならではの国際交流を完全再開することができ、一年間を通して国際の友情関係に笑顔を咲かすことができました。

『最後に』

この70年間、先輩諸兄姉は、明るい豊かな社会を実現するべく、その時代に応じて様々な運動を展開してこられました。そしてその運動は、あるものはいまだに継続され、あるものはカタチを変え、そしてあるものは精神を根付かせ、またあるものはわたしたちがおこなう事業の唯一無二の教材として、今もなお生き続けています。

わたしたちは、この運動の集合体を恩恵にさずかり、様々な事業を通じて「希望という名の種」を蒔き、人々の「笑顔」を咲かすことができました。

一年間、関係したすべての方々のお支えにより、JC運動に邁進することができましたことに、心から御礼申し上げます。そして、この一年間をともに走り抜けてくれた全メンバーに、心から感謝申し上げます。

これからも、わたしたちの使命は変わりません。我々が目指す明るい豊かな社会の実現に向けて、「希望という名の種」を蒔き続けましょう。

2023

2023年度 例会報告／REGULAR MEETING REPORT

1 1月度例会

日時：1月 16日(月)
場所：リーガロイヤルホテル小倉

例会委員会
新年例会・祝賀会

2023年度初となる例会で、今年度のLOMとしての方向性の確認や団結力を高める場となりました。新年祝賀会では、第71代理事長である上田信晃の所信表明を多くの来賓者へ届けることができました。同時に役員の紹介もさせていただきました。

また、福岡県知事の服部 誠太郎様、北九州市長の北橋 健治様をはじめとする多くの来賓の方々へお越しいただき、ご祝辞を賜りました。2023年度のスローガン「笑顔咲く～希望という名の種を蒔こう～」のもと、北九州JCメンバー一同が邁進するためのよい機会となりました。

2 2月度例会

日時：2月 9日(木)
場所：THE STEEL HOUSE

会員拡大推進委員会
拡大意識向上例会

日本青年会議所第71代会頭の中島土氏を講師に迎えました。「意識向上！～拡大成功への道～」と題し、中島直前会頭の実体験を交え、魅力を発信・伝えるためにについての講演をおこなっていただきました。中島直前会頭の講演は非常に印象に残りやすく、講演後の質疑応答においてもメンバーから積極的な質問が出てくるなど、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

また、中島直前会頭には講演会後の懇親会にもご参加いただき、北九州JCメンバーやゲストの方々とも交流を深めていただくなど、実り多い例会となりました。

3 3月度例会

日時：3月 15日(水)
場所：吉富フォーユー会館

例会委員会
第1エリア合同例会

中村聖秘亞理事長をはじめとしたJCI豊前のメンバーの設えにより、福岡ブロック協議会第1エリア合同例会が執りおこなわれました。福岡ブロック第1エリアは北九州JC、ひびきJC、豊前JC、宮夜古JCの4LOMで構成されています。

例会では本年度福岡ブロック協議会会長の野田康友君をお迎えし、本年度のスローガンやブロックの方向性をご説明いただきました。また、ブロックアワーとして福岡ブロック協議会各委員会の事業の紹介がありました。

例会後には第1エリア4LOMのメンバーと懇親・交流する場が設けられ、北九州JC以外の活動を知ることができます。

4 4月度例会

日時：4月 10日(月)
場所：アートホテル小倉ニュータガワ

国際交流委員会
国際例会

国際例会では、交際マナー研修の機会を設け、アジア諸国のローカルマナーやグローバルな場でのマナーについての講習をおこないました。また、北九州市立大学に留学中の方々、NPO法人J.I.L.S.A様のご紹介で、北九州で勤労されている外国人の方々をお招きし、バングラディッシュ、ネパールなど9カ国もの外国人の方々と、バヌルディスカッショニン形式での交流をおこない、好みや文化の違いについて深く学べる貴重な機会となりました。

懇親会では外国人の方の席を設け、和気あいあいとした雰囲気の中で交流をおこなうことができました。日常で接する機会が少ない外国人の方々との交流は、メンバーにとって国際交流に理解を深めるための非常によい経験となりました。

5 5月度例会

日時：5月 9日(火)
場所：アートホテル小倉ニュータガワ

まちの活力促進委員会
まちづくり例会

例会は「再興!再考!最高!北九州&下関～まちづくり編～」というテーマのもと、ゲストに下関JCのメンバーが訪れ、門門エリアでさまざまな事業を展開する合同会社PORTO代表の菊池勇太様を講師としてお招きし、インバウンドの必要性やDX(デジタルトランスフォーメーション)に関する講演をおこなっていただきました。まちづくりは人づくり。人を作っていくとまちも作られていく。どんな人でもまちを変えられる。まずは何か新しいことを1つでもいいので始めることが重要だというお言葉をいただき、北九州JCとしてもひとつひとつの事業をしっかりと構築していくことが大事だと感じました。

懇親会では引き続き下関JCのメンバーと菊池様にも参加していただき、交流を深めました。同じ門門エリアで活動する者同士、より一層のチャレンジ精神をもって活動していくことを讚えています。

6 6月度例会

日時：6月 9日(金)
場所：アートホテル小倉ニュータガワ

アカデミー委員会
アカデミー例会

6月度例会は、入会して間もない会員が所属する、アカデミー委員会が担当でおこなわれました。アカデミーアワーでは5市合併直後の北九州JCの混乱や、北九州のシンボルとして一致団結して小倉祇園太鼓像の建立を目指した先輩諸兄姉の努力など、北九州市の成り立ちから現在に至るまでの歴史や想いを学ぶことができました。

また懇親会では、4年ぶりにフルスケールで開催されるわっしょい百万夏まつりの夏まつり大集合が無事に運行できるよう、各山責任者がそれぞれの熱い意気込みを宣言し、成功を誓う場となりました。

7

7月度例会

日時：7月 10日(月)
場所：THE STEEL HOUSE

広報委員会

広報例会

創立70周年の北九州JCの振り返りと下半期に向けた激励例会でした。

広報委員会が作成した、70周年式典及び祝賀会の記念動画から始まり、北九州キッズチャレンジパーク2023の記念動画、JCIインパクト、JCI仁川富平、JCI台北の3つの姉妹JCのアンドの様子や、ウェルカムパーティの様子も再度振り返る事が出来ました。

その後の懇親会では、各委員会の委員長、局長による上半期のメンバーに対しての慰労と下半期に向けての意気込みスピーチしてもらいう時間があり、どの委員長も下半期の事業に向けた覚悟を感じる事が出来ました。

今まで沢山の先輩方が築かれてきた歴史を未来に繋ぐために学びのある時間となり、下半期のさまざまな事業を控えた中、改めてLOMの方向性を確認するよい機会となりました。

8

8月度例会

日時：8月 10日(木)
場所：アートホテル小倉ニュータガワ

家庭教育推進委員会

家庭教育推進例会

本例会では「ほめて・認めて・励ますコミュニケーション」というテーマのもと、教育実践研究家の菊池省三氏を講師としてお招きし、自己肯定感やコミュニケーションの重要性に関する講演をおこなっていただきました。

講演中には「笑顔」で隣の人とディスカッションする時間を多くとり、選択式の回答ではなく、自分の意見を述べるタイミングを意図的に作っていたのが印象的でした。

例会後には臨時総会がおこなわれ、2024年度理事長予定者として後藤浩太君が選出されました。

その後の懇親会では、北九州JCメンバーのまわりの「できた」「楽しかった」瞬間の写真やエピソードを紹介しあい、それを認めあう・褒めあうことで、それぞれのメンバーの自己肯定感向上に繋げることができました。

9

9月度例会

日時：9月 10日(日)
場所：響灘緑地 / グリーンパーク

青少年育成委員会

家族例会

メンバーのご家族も招待する家族例会ということで、アトラクションとして熱気球搭乗体験会もおこなわれました。

また、例会に先立って臨時総会がとりおこなわれ、次年度の理事候補者の発表がありました。

例会では普段とは異なり、休日の昼間からメンバーの家族も招待し、和気あいあいとした雰囲気の中でおこなわれました。

青少年アワーでは子どもを相手にするプロフェッショナルから、地域で子どもを育てる大切さや、子どもを相手にするときの心かけなどのレクチャーがありました。

懇親会ではバーベキューを行い、家族へのねぎらいの気持ちを伝えるとともに、家族からの理解を得るための一助となりました。

笑顔があふれる一日となりました。

10

10月度例会

日時：10月 17日(火)
場所：北九州ソレイユホール

例会委員会

市民公開例会

オリンピック金メダリストの内村航平氏をお招きし、「目標達成に大切なこと」をテーマとし、講演をおこなっていました。現役時代にメンタルを保つためにどのような意識を持っていたか、目標達成に向けて、どういったことを一つずつ達成していくかなど、料理の手順になぞらえたりしながら語っていました。

講演会の最後には後方座席に座ったリクエストにも応えていただきました。

また、講演会終了後、JCメンバーのみで通常例会もおこないました。例会では次年度委員長予定者による委員会PRがあり、次年度にかける意気込みが熱く語られました。

11

11月度例会

日時：11月 9日(木)
場所：アートホテル小倉ニュータガワ

総務局

事業報告例会

各委員会が一年間おこなってきた活動を振り返る事業報告例会をおこないました。例会の序盤ではセネター認証式がおこなわれ、4名の先輩にセネター資格が認められ、認証される運びとなりました。

JCIセネター資格とは、現役及びOBの、これまでの青年会議所活動への偉大なる功績をたたえ贈呈される報奨制度です。

また、その後の事業報告では、各委員長による所感発表の後、それぞれの委員会により作成された動画鑑賞をおこないました。

約1年間をとおして「笑顔咲く～希望という名の種を蒔こう～」のスローガンのもと、どのような活動をおこない、関わった人へ希望を抱かせることができたか再確認することができました。

12

12月度例会

日時：12月 11日(月)
場所：リーガロイヤルホテル小倉

例会委員会

卒業例会

2023年度最後となる例会および卒業式・祝賀会をおこないました。

卒業式では、卒業生への感謝状授与がおこなわれ、在席メンバーを代表し59年会会長の河原健君による送辞が卒業生に送られた後、58年会会長の清水宏晃君よりこれからもJC活動を楽しんでほしいとの答辞の言葉をいただきました。

卒業祝賀会では、歴代の理事長の先輩方の手によって、上田理事長から次年度の後藤理事長予定者へブレジデンシャルリース伝達がおこなわれました。

また、後藤理事長予定者より、次年度への展望と思いを語っていただきました。

その後卒業生パフォーマンスがあり、クオリティの高いアトラクションで現役メンバーを楽しませていただきました。

1月・2月・3月・4月 January・February・March

新年例会・祝賀会

一般社団法人 北九州青年会議所
2023年度

新年祝賀会

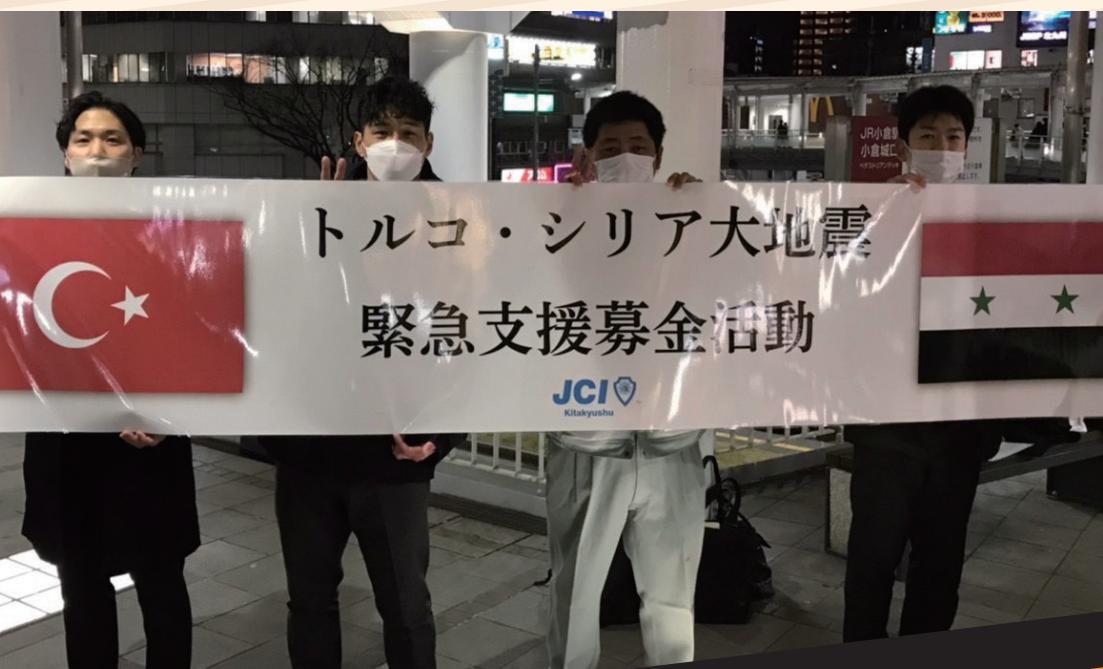


2023 COMMITTEE ACTIVITY REPORT 委員会活動報告

北九州マラソン 2023



(市長表敬訪問)
トルコ・シリア大地震 募金活動



京都会議



下関JC・北九州JC交流事業(坐禅・写経)



WDSF Breaking for Gold World Series
後援



pick up コメント!

アンケートから多くのメンバーがコロナ禍で疎遠になっていた国際感覚を取り戻し、これから始まる姉妹JCや多くの海外LOMとの交流に前向きな意見をいただきました。また地域の外国人の現状にも目を向け、北九州JCがこれから率先して地域の外国人との交流をおこなっていき、外国人にも住み良い街づくりをおこなっていきたいと感じる機会にもなりました。

4月度国際交流例会



2月度拡大意識向上例会



pick up コメント!

議案の仕組みや理事会の模擬をおこない、議案塾当日には他委員会メンバーや正副常任の皆さんにも参加していただき、緊張感のある事業となりました。実際に体験したメンバーはたくさんのお学びがあり、参加して良かったといってくれていました。

pick up コメント!

中島直前会頭の講演からは非常に熱量の高さを感じ、北九州JCメンバーが拡大活動をおこなう重要性を意識した例会となりました！



アカデミー研修事業 議案塾



Other Project その他事業

(公益)貝塚青年会議所(一社)北九州青年会議所 2023年度友好会議

58年会 猪無邪氣世界厄払いの件

3月度第一エリア合同例会

北九州JCじゃがいもくらぶ 第514回ゴルフコンペ

第一エリア野球大会

第5回北九州街づくり団体交流ゴルフコンペ

ANNUAL REPORT 2023-2024

10

- HPの作成および運営
- PRツール作成
- JC手帳作成
- e-みらせん投稿
- JCI台北 会長交代式参加

5月・6月 May・June

70周年記念事業 北九州キッズチャレンジパーク2023

pick up コメント!

7200名に来場いただき、多くのメディアにも取り上げてもらい、北九州青年会議所のPRにもつながりました。大変でしたが最高でした！



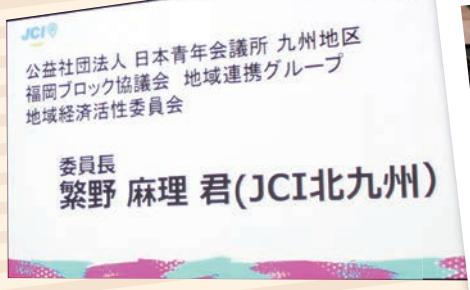
おしごと体験～ワクワク(work work)チャレンジ～



pick up コメント!

メンバーと一緒に学び、言葉尻ひとつまでこだわって準備をした事業でした。単に「おしごと楽しかった」で終わらず、保護者さんへ届けたいと願った想いがアンケートで返ってきたことが本当にうれしかったです！

第51回福岡ブロック大会柳川大会



pick up コメント!

同じ福岡県内であっても人によって普段なかなか足を運ぶことのない地域はあると思われます。北九州の魅力や今後の発展を客観的に見る・考えるためにも、県内の他地域を体感できるブロック大会の参加促進は意義あることであるとあらためて感じました。



ASPAC ジャカルタ大会



到津の森チャリティゴルフコンペ



5月度Jコン(異業種交流会)



Other Project その他事業

外部との協力体制を活用した広報事業
5月度まちづくり例会
6月度アカデミー例会
2023年度中間監査

わっしょいパレード クラウドファンディング実施
わっしょい百万夏まつり協賛金意識醸成事業
家庭教育「持続型」
訪日外国人受け入れ態勢構築

7月・8月

July・August

70周年記念式典・祝賀会



pick up コメント!

メンバー一丸となることで成功することができました。写真撮影から各テーブルでの皆様の対応で、皆さんが笑顔になれたと感じました。



JCI インパクト北九州公式訪問



九州コンファレンス in 熊本



海峡花火大会ボランティア



第36回わっしょい百万夏まつり



IFP児童交換事業



JCI 台北公式訪問



pick up コメント!

今後、今以上にグローバル化が進むことが予想される中、若いうちから海外の人たちと交流することは両国の児童にとってプラスでしかないと思います。ズームや翻訳アプリなど世の中には様々なツールがありますが、やはりIFPは実際会うことが非常に重要だと感じました。

Other Project その他事業

JCI台北名誉会員お披露目式・台北ナイト
北九州JC野球部 福岡ブロック大会
7月度広報例会
2024年度役員選考委員選挙

8月度家庭教育推進例会
JCI仁川富平アテンド
JCI台北アテンド

9月・10月・11月・12月

September・Oct

夜景観賞クルーズ体験・地球の歩き方セミナー



全国大会 in 東京



小倉祇園太鼓清掃



9月度Jコン(異業種交流会)



October・November・December

10月度市民公開例会



pick up コメント!

現役時代にメンタルを保つためにどのような意識を持っていたかや、目標達成に向けて、どういったことを一つずつ達成していくかなど、料理の手順になぞらえたりしながら語っていただきました。講演会の最後には後方座返りを披露していただくなどのリクエストにも応えていただきました。

卒業例会・祝賀会



11月度事業報告例会



pick up コメント!

この事業報告動画を見てLOMの方向性を再確認することで、次年度に関わる委員会への可能性と意識高揚の場となることに努めました。

また上映という観点から飲食可能として、就労支援B型による製造(株)架け橋様)ポップコーンを配布しました。

動画をより一層楽しみながら見ることで、通常の例会では味わえない事業報告例会ならではの演出を試みました。

下関JC・北九州JC交流事業(報告会)



Other Project その他事業

- 9月度家族例会
- 定款改正
- アカデミー修了式
- 北九州JC 仁川富平公式訪問

- 北九州JCじゃがいもくらぶ 第516回ゴルフコンペ
70周年記念誌発行
- 2024年度アニュアルレポート作成
- 第1回 Asia Pacific Young Leaders Summit出席
及び 北九州JC 台北公式訪問

2024

会員募集中／RECRUIT NEW MEMBERS

一般社団法人北九州青年会議所は
一緒に運動する仲間を募集しています

業種別会員名簿／ORGANIZATION CHART

医療・介護・薬剤関連	不動産関連	飲食業	製造・流通・貿易関連
上山沙耶歌 株式会社さわやかファーマシー	阿部 舞 株式会社ビーケアフル	大木 圭太 株式会社やじ美味	小川孝一郎 (株)バーソナルネット
畠 信二 株式会社畠製品	石奇 充郎 株式会社グローバルマーケット	大下 亜耶 (株)TK smile	川口 明 有限会社川口通商
花田 謙司 株式会社いきいき	今村 信介 ブラウジング 嵐アミューズホームヴィレッジGOLF	大庭 和之 (株)DC	添田泰治郎 有限会社SIT
星川 育代 (有)医療事務研究会	内田 康太 タワービル都市開発株式会社	川本 由衣 メンバーズ スピーカー	染矢 裕紀 株式会社フジコー
安木 南 有限会社やすき	尾形 英恵 勸和興産株式会社	木谷 勇祐 田野浦船舶株式会社	田中 公樹 日本たばこ産業株式会社 福岡支社
建設・設備	岡本 謙吾 株式会社フジタ	菊池 和樹 ハーモニーワールド株式会社(鏡台ハイポール)	田中 陽祐 田中石材株式会社
入口 広大 入口建築設計	岸野 大作 株式会社アセット	木原 彩 Wiz	徳永 大典 三洲産業株式会社
上村 将 新栄設備株	末吉智久美 (株)デザイナーズラボ福岡	財前 昌幸 (株)アリヤス	沼田 琢児 岡野ハリープ製造株式会社
宇都宮億巳 有限会社大塚工務店	菅原 健二 菅原不動産株式会社	佐々木 翔 株式会社天彦	原田 貢太 北九州商事株式会社
梅尾 肇太 梅尾造園	杉本 成信 株式会社不動産きんぐ	高橋 啓太 株式会社BIGAPPLE	廣光 慧大 豊光産業(株)
大野 正樹 有限会社大野機工	刀根 和也 株式会社ネクストーン	高原 大倫 手羽先の鶴ヒロ	村方 亮太 ムラカタ流通(株)
大場亜莉沙 株式会社Clover One	橋元貴津那 株式会社connect home	竹岡 香菜 MENBER'S 莉	吉原裕太郎 株式会社西日本工業
大山 包夢 (株)APS	細川 隆樹 株式会社不動産のデパートひろた	中野裕太郎 39	
川村 洋史 大榮株式会社	森山 聖 大英産業株式会社	貴野 愛子 株式会社Ailes	
木戸 大郎 木戸安産業株式会社	吉岡 稔騎 株式会社Liz	望月 宣芳 (株)望月商会	
保険・金融関連		森 麻里絵 熟成鮓ねぎかなや	
後藤 浩太 株式会社RoomDeco	石丸 大介 トップ保険サービス株式会社	山口 泰東 北九マリンシステム株式会社	
貞末 拓也 株式会社平と電業社	石藏 有城 グローバルアイディアル株式会社	山田 美悠 株式会社ベル	
竹内 陽平 (株)泰平住建・(株)泰平ホーム	梅原 裕基 株式会社ライフプラザパートナーズ	山室 小巷 Jill	
谷口礼治郎 株式会社谷口通信社	大瀬戸勇貴 アクサ生命保険株式会社	八木陽太郎 株式会社松井グループ	
月形 直貴 株式会社月形	大坪 将太 ブルデンシャル生命保険株式会社	吉田 健太 INCLAFT	
富田 靖久 西日本工材株式会社	大野 達朗 有限会社サザン&T-O		
中野 宏亮 株式会社長谷部電設	加藤 友也 明治安田生命保険相互会社	石川 祥 石川商事株式会社	
繩稚 健二 有限会社ナワチ	楠木 聰一 ブルデンシャル生命保険株式会社	川上 真平 (有)西日本環境開発	
浜村 鐘祺 有限会社ハマムラ	杉田 貢一 明治安田生命相互会社	白川 穀樹 株式会社シラカワ	
平田 政樹 北消防災設備株式会社	奈良崎祐基 (株)東京海上日動/パートナーズ九州	林田 拓也 株式会社CLG	
福田 勝平 株式会社五福	濱口 泰明 株式会社浜口保険事務所	笛田 晋也 (株)西日本美装	
福山 雄太 株式会社福山組	正富 晃規 アクサ生命保険株式会社	宮崎 直樹 株式会社プロテクトホーム	
本間 正浩 株式会社渡部建設	山下 翔平 ブルデンシャル生命保険株式会社		
松村圭一郎 .Noahホールディングス(株)	吉田 豊 株式会社リーフデザイン北九州		
人材派遣			
畦津 良介 (株)アクア	岡崎満太郎 株式会社オカベイ		
繁野 麻理 まろごねくと	尾崎 好政 (株)尾崎商店		
山口 拓也 株式会社ワールドインテック	萩田 直人 株式会社かば田食品		
卸売・小売業			
大庭賀次郎 BESPOKE OHBA	後藤 寛之 株式会社丸心じ		
大原 由翌 株式会社マックスオーディオ	土屋 淳 (有)ニコニコ		
稻野 優樹 Mio Sarto	戸高 大介 株式会社かねすえ本舗		
神谷 紀江 株式会社花輝	戸町 武秀 デリカフーズ(株)		
高場 博司 トレンドサーチ合同会社	永田 雅浩 株式会社TriNity		
富岡 可幸 (有)とみおかや	橋部 智貴 株式会社河村酒販		
新名 宗明 岸川商事(株)	森尾 泰之 小倉かまぼこ㈱		
福田 亮太 株式会社キフヌ			
矢野 聖弥 セラフィム・ワン(株)株式会社			
横田 優太 光徳電機エージェンシー			
自動車関連			
上野 誠矢 JSコーポレーション株式会社			
河原 健 ケーディングガレージ(有)			
谷山 祐介 OCEANS			
広告・印刷・クリエイティブ・IT関連			
林 邦明 LCS			
宮原 慎治 株式会社マルチプライムソリューションズ			
宮 盛王 ツカサ印刷株式会社			
サービス			
岩本 成矢 株式会社DECORATE COMPANY			
上村 健太 株式会社栄光ゴミ処理センター			
甲斐 優吾 K2エナジー			
川越 康宣 株式会社リン・リン			
柴田 洋岐 株式会社Thanks			
島田 順 JR九州ステーションホテル小倉株式会社			
高山友紀子 合同会社Office Fierté			
田中 裕人 株式会社LIBERTE			
星野 宏貴 有限会社エイセイ			
イベント関連			
菅 真志 SEED Creators			
内藤 翔太 LUMS FUKUOKA			
中村 敏輔 カノアラウレアーズ福岡			
旅行			
井手 雄斗 株式会社トラベルルック			
岩尾 健 有限会社遠賀観光バス			
宮垣 優也 名鉄観光サービス(株)			
土 業			
金崎 大地 株式会社ショウエー設計測量事務所			
後藤 啓太 L.B.E法律事務所			
末安 陸斗 城野法律事務所			
高 芙妃子 液上税理士事務所			
見越あけみ かなで法律事務所			
本松 豪 ベストパートナーズ司法書士事務所			
整骨院・エステ・美容室・ジム			
秋田 優希 LOUVRE株式会社			
鵜池 育 アット整骨院			
河津 陽三 (株)ネスル／(株)MEDICAL SMILE			
田原 勝哉 (株)勝心			
村上 肇 赤ひげ整骨院			
吉永 大貴 BIJOU			

2023

2023年度 事業報告 / ANNUAL REPORT BY JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL, ACTIVITIES WITHIN LOM

 (公社)日本青年会議所・国際青年会議所 2023年度 事業報告		【京都会議】 ● 2023年1月19日～1月22日
 [2023年度 ASPAC ジャカルタ大会] ● 2023年5月10日～5月13日		[サマーコンファレンス 2023] ● 2023年7月22日～7月23日
 [九州コンファレンス 2023 in 熊本] ● 2023年8月18日～8月20日		[FUKUOKA コンファレンス 2023] ● 2023年9月30日
 [第72回 全国大会 東京大会] ● 2023年10月6日～10月8日		[JCI 2023 世界会議] ● 2023年11月14日～11月17日

2024

概要 / ABOUT US

一般社団法人 北九州青年会議所

1953年、40数名でスタート

名 称 一般社団法人 北九州青年会議所
(北九州JC)

所在地 〒802-0082
北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館6F

連絡先 TEL 093-531-7910 / FAX 093-551-0212
E-mail : room@kitakyushu-jc.jp

設立日 1953年7月3日(設・小倉青年会議所)

創立日 1970年(社団法人北九州青年会議所)

スポンサーJC 一般社団法人大阪青年会議所

チャーターJC 一般社団法人大分青年会議所
公益社団法人中津青年会議所
一般社団法人日田青年会議所

姉妹JC 台北市國際青年商會(JCI台北)
仁川富平青年会議所(JCI仁川富平)
JCIウェラワット
JCIインパクト(モンゴル)

友好JC 一般社団法人宮崎青年会議所
一般社団法人横浜青年会議所
公益社団法人貝塚青年会議所
一般社団法人下関青年会議所
一般社団法人福岡青年会議所

青年会議所(JCI)とは?

日本全国692の地域に約33,000人の『修練』『奉仕』『友情』という三信条のもと、率先して行動する仲間がいます。(2020年1月1日現在)
半世紀以上も前から時代は変われど『明るい豊かな社会』の実現を目指す指導者たらんとする青年団体、それが青年会議所(JC)です。

世界中に広がる青年会議所

日本青年会議所は国際青年会議所(JCI:Junior chamber International)の一員です。国際青年会議所は世界115カ国17万人以上、OBは250万人以上という組織です。アメリカ42代大統領ビル・クリントン、第7代国連事務総長コфиー・アナン、フランス第5代首相ジャック・シラクも青年会議所のOBです。その他多くのメンバー・OBが世界中にいます。

その他の主なJC出身者

各界で社会に貢献する優秀なOBが多いこともJCの特色のひとつです。優秀な経営者だけではなく、国会議員や知事、市長などの優秀な人材も多く輩出しており、日本のリーダーとして活躍中です。

世 界	・アル・ゴア (アメリカ合衆国元副大統領) ・アルベルトII世 (モナコ大公) ・ジョン・F・ケネディ (アメリカ合衆国元大統領) ・ビル・ゲイツ (マイクロソフト創業者) ・ロナルド・レーガン (アメリカ合衆国元大統領)	日 本	・麻生 太郎 (元内閣総理大臣) ・佐治 敬三 (元サントリー会長) ・小泉 純一郎 (元内閣総理大臣) ・森 稔 (森ビル元社長) ・千 玄室 (茶道裏千家15代家元)
-----	---	-----	---

一般社団法人北九州青年会議所は…

一般社団法人北九州青年会議所とは、“明るい豊かな社会”の実現を目指し、様々な活動を行う団体です。次代の在るべき姿を見据え、市民・企業・行政諸団体と連携しながら主体性を持って活動を行っています。社会を様々な角度から多面的に捉え、総合的な施策をもち、社会発展のために運動を繰り広げています。JCI北九州は、次代の担い手としての責任感を自覚する青年(20～40歳)が集う団体です。

同じ理想と使命感を持つ青年が相集い力を合わせることで、友情を育み、互いに影響し合い、若さが持つ無限の可能性を引き出しあっています。日々の活動を通して、社会・地域のリーダーとしての指導者能力を鍛えることも行います。



Design Concept

「ひと」によって「つくる」「繋がる」「橋」をイメージし、
本年度カラーにてデザインされたアイコン。
その陰影となる「一歩」を表現した「足跡」は、「未来」や「次世代」を表現してい



一般社団法人北九州青年会議所
Junior Chamber International Kitakyushu

事務局 | 北九州市小倉北区古船場町 1-35-6F (〒802-0082)
1-35-6F, Furusenba-machi, Kokura-kita, kitakyushu, Fukuoka, JAPAN, 802-0082
TEL 093-531-7910 / FAX 093-551-0212
E-Mail: room@kitakyushu-jc.jp

◎ Instagram

Find us on

<http://www.kitakyushu-jc.jp>

kitakyushu.jc

KitakyushuJC

